

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



世田谷区

豊かな自然に恵まれた 心癒される都会のオアシス 「等々力溪谷公園」

世田谷区の閑静な住宅街にある「等々力溪谷公園」は、1974年に開園しました。溪谷の自然的環境や景観を活かし、水と緑とそこに住む生き物を五感で感じとることのできる都会のオアシスとして、訪れる多くの人々に愛されています。

東京23区内唯一の溪谷公園

等々力溪谷は、武蔵野台地の南端を谷沢川が侵食してきた、延長約1kmほどの溪谷です。1936年に、東京都の緑地計画の一部として、護岸と川沿いの散策路の整備事業を竣工し、1957年に風致公園として都市計画が決定され、東京都が整備をしました。溪谷沿いの一部を中心に、等々力溪谷公園として開園したのは、1974年になります。その後も用地取得と整備を進め、現在は3ヘクタールを超える区域が公園となっています。溪谷一帯は、東京都文化財保護条例によって「名勝」に指定され、谷沢川に沿った散策路から、優れた自然の景観を楽しむことができます。

豊かな水と緑、生き物の宝庫

等々力溪谷を含む地域一帯は、1933年に多摩川風致地区に指定されました。散策路の脇にある斜面にはシラカシやケヤキなどが形成する武蔵野の雑木林が残り、シジュウカラ、ハフセキレイ、ツグミなどさまざまな野鳥を見ることができます。等々力溪谷には30箇所以上の湧水が発生しています。湧水が流れる緩やかな斜面には、セキショウが生え、湧水が溜まる湿地にはシャガやキチジョウソウをはじめとする湿生植物群落など、特有の植生が見られます。川や湧水が形成する湿地には、ドジョウやアユ、サワガニといった生き物がたくさん生息しています。

園内に点在する歴史的資料

園内には自然の景観以外の見所も多く存在します。不動明王を祀った「等々力不動尊」は、関東三十六不動に選ばれており、桜や秋の紅葉など四季折々の自然を楽しむことができます。等々力不動尊の対岸には、1961年に建築された書院建物と日本庭園があります。庭園は、著名な造園家により1973年に作庭されたもので、当時のままの姿で保存されています。同年に園内で6基の古墳が発見されています。そのうちのひとつである3号横穴は、典型的な横穴墓の形態を留めていて、埋葬人骨や副埋葬品も良好であったことから保存に至りました。



夏でも空気がひんやり感じられる散策路



等々力溪谷入り口にあるゴリン橋



古墳時代末期から奈良時代にかけて構築された3号横穴



日本庭園と書院



等々力不動尊

等々力溪谷公園

所在地 世田谷区等々力1-22、2-37・38
日本庭園開園時間 9:00 ~ 17:00 (3月 ~ 10月)
9:00 ~ 16:30 (11月 ~ 2月)
日本庭園休園日 12月29日 ~ 1月3日
日本庭園入園料 無料
アクセス 東急大井町線等々力駅より徒歩3分
お問い合わせ 03-3704-4972
(玉川公園管理事務所)

